

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2024年 4月 30日

事業所名: 勝原PeCoキッズ・アフター

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	児童発達支援と放課後等デイサービスの両療育室を一体化し使用している。	はい...100% どちらともいえない...0% いいえ...0% わからない...0%	今後も一体化活用をしていきます
	2 職員の適切な配置	公認心理師・作業療法士・言語聴覚士・保育士・社会福祉士を配置。	はい...95% どちらともいえない...0% いいえ...0% わからない...5%	今後も専門性を発揮できるよう努めます
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	全面バリアフリー。 各入口に絵カードを表示、分かりやすくしている。	はい...84% どちらともいえない...5% いいえ...0% わからない...10% 活動報告はあるが、実際の活動している姿は見えないため 玄関ドアが独立して開かず、不便に感じる	療育及び活動をいつでも見ていただけることをさらに周知していきます
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々の清掃に留まらず、その都度の清掃消毒を実施。	はい...95% どちらともいえない...0% いいえ...0% わからない...5% 必要に応じパーティションで区切られていて集中しやすい環境だと思う	今後も、整理整頓、清掃、消毒に努めます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	その都度の話し合いと、職員会議での周知徹底。		今後も全員が意見を出せる事業所を目指します
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	未実施		今後検討します
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	月1回の職員研修の実施 適宜、外部研修の実施		今後も、信頼される職員となれることを目指します
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	面談によるニーズ把握 アセスメント用紙の記入をお願いしている		より詳しい情報収集ができるよう努めます
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	集中が続く30分を目安とし、個別療育と様々な小集団活動を組み合わせている。	はい...100% どちらともいえない...0% いいえ...0% わからない...0% 他の事業所ではできないようなトレーニングをしてもらい結果が目に見えて出ています。	より専門性を発揮できるよう努めます
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	公認心理師・作業療法士・言語聴覚士・保育士が夫々に項目を設定。利用児に合わせて必要な項目の支援を実施		多職種が連携し、最適な支援が行えるよう努めます
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	利用児個々の支援計画に沿って適切な支援を実施。	はい...89% どちらともいえない...0% いいえ...0% わからない...10% 根拠をもって説明されるとより理解しやすい	職員間での日々の情報区間をより緊密にし、適切かどうかの判断をその都度行っています
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	それぞれが案を提案、合議のもとプログラムを作成		今後も全員が意見を出せる事業所を目指します
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇ではイベントに向けた計画的な支援を実施	はい...89% どちらともいえない...0% いいえ...0% わからない...10% 退屈しない様にいろんなことができ楽しいようです 月のスケジュール表(予定表)があれば分かり易い	長期休暇時にしかできないプログラムを考えていきます
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	書籍・研修・SNSなどの利用での情報収集をしている		今後も全員が意見を出せる事業所を目指します
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝礼時に全職員でその日のスケジュール、役割分担・支援内容の確認実施		今後も徹底できるよう努めます
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	記録を書きながら全職員が情報共有している		今後も徹底できるよう努めます
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	他職員の記録を情報共有する中で気づきを促す		今後も徹底できるよう努めます
11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に一度のモニタリングと支援計画作成職員全員で利用児の様子を確認している		今後も徹底できるよう努めます	
1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	個別療育実施者の手が空いていれば参画。不可能な時は児発管が参画。		なるべく個別療育担当者が参加できるよう努めます

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	非該当		
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	非該当		
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	直接情報共有している学校・保育園と相談支援事業所を通して情報共有している学校・保育園がある		より緊密な連携が取れるよう努めます
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	現在、小学生のみのため未実施		
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	研修受講実施		より緊密な連携が取れるよう努めます
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	児童発達支援事業では保育園との交流実施	はい…47% どちらともいえない…5% いいえ…16% わからない…32%	保育園との交流を深める一方、その他の交流場面を創出できるよう努めます
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	これからの課題と認識している		今後検討します
	保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時、モニタリングの面談時など、機会があるごとに説明をしている	はい…100% どちらともいえない…0% いいえ…0% わからない…0%
2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明		具体的に説明ができるよう心掛けている	はい…100% どちらともいえない…0% いいえ…0% わからない…0%	今後も丁寧な説明を心掛けます
3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレントトレーニング等の支援の実施		個別での助言や、スタッフ通信などを通じ少しでも手助けができるようにしている	はい…37% どちらともいえない…16% いいえ…10% わからない…37%	どこからをペアレントトレーニングと呼ぶのかを含め、検討します
4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底		連絡帳や送迎時にお伝えしている	はい…95% どちらともいえない…5% いいえ…0% わからない…0%	今後も詳しくお伝えできるよう努めます
5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施		連絡帳や送迎時にお伝えしている	はい…95% どちらともいえない…5% いいえ…0% わからない…0% 発達検査結果をかみ砕いて説明してもらえると嬉しい	今後より一層保護者の方に寄り添えるよう努めます
6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援		年に数回イベントを実施し、保護者が顔を合わせる機会を作っている	はい…19% どちらともいえない…12% いいえ…19% わからない…50% イベント等においてこの点を配慮されているのかわからない	定期的にイベントを開催し、親睦が深まる様支援をします
7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応		管理者を中心に全職員で対応できる体制を作っている	はい…50% どちらともいえない…0% いいえ…0% わからない…50% 苦情を言ったことがないのでわからない	今後も迅速かつ適切な対応に努めます
8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮		CoDMONの活用、マカトン法の採用	はい…100% どちらともいえない…0% いいえ…0% わからない…0%	今後も詳しくお伝えできるよう努めます
9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信		CoDMONの活用	はい…100% どちらともいえない…0% いいえ…0% わからない…0% CoDMONの写真を見て一生懸命取り組んでいる姿が見られました	今後も詳しくお伝えできるよう努めます
10 個人情報の取扱いに対する十分な対応		指針の整備をし、職員に周知徹底をしている	はい…100% どちらともいえない…0% いいえ…0% わからない…0%	今後も慎重に取り扱います
	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	年間の研修計画に組み込んでいる。CoDMONでの周知を行っている	はい…75% どちらともいえない…6% いいえ…0% わからない…19% マニュアルに沿って説明されていない	今後、さらなる周知を行います
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	毎月1回、避難訓練を実施	はい…44% どちらともいえない…6% いいえ…0% わからない…50%	今後、避難訓練の様子をCoDMONにて発信します

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	虐待防止委員会の開催、年に2回研修の実施		今後も適切な対応ができるよう努めます
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	ケース会議の開催、担当者会議の開催、面談での説明の上で、個別支援計画に記載		今後も適切な対応ができるよう努めます
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	現在、対象者なし		今後も適切な対応ができるよう努めます
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット報告書の提出、職員会議での対応策の周知徹底		今後も適切な対応ができるよう努めます